

平成21年5月1日

いしかわ農地・水・環境協議会

■地域の生きものと水質について

中能登支部【小田中地区環境保全ネットワーククラブ】

中能登町の「小田中地区環境保全ネットワーククラブ」では、子どもたちに地域の田んぼや生きものを知ってもらい、活動を通じて世代間の交流を促進するために生きもの調査を実施しています。(写真)

調査は、地域住民や地元小学校に加えて、JA能登わかば、水土里ネットいしかわが協力し、タモ網を手に田んぼのカエルや水路の魚類を対象に行ないました。

● 最近生息数が大幅に減少しているといわれるトノサマガエルやタモロコ、ヨシノボリ類などが確認され、昔を知る方は少なくなったと感じているようですが、整備された水路でもカエルや魚類が残っている地域であることがわかりました。

捕まえた生きものは種類ごとに丁寧に説明してもらい、子どもたちだけでなく大人も勉強になりました。

小田中地区では、今後もこうした活動を通じて地域のつながりを大切にし、農村環境を守っていきたいと考えています。



■「田植・稻刈・ハサ掛け」作業の体験

県央支部【水土里クリーン東蚊爪】

● 当地区は河北潟に接し、水路が縦横に走る低湿地でありました。従って古来より米作りを生業としてきました。この米作りの一端を子供達や若い世代の人達に体験して貰いたく活動を実施しました。(写真)



東蚊爪町農業生産組合の協力の下、田植・稻刈・ハサ掛けの実践活動を行い、親子で延べ67名の人達に参加していただきました。10月5日、親子で刈取った稻を結束し、運搬してハサ掛けをしました。特に刈取後の簡単に解けない結束方法に关心があり、生産組合の皆さんに結束方法を熱心に聞いていました。親子で会話を交えた作業は貴重な体験でもありました。

農家とはいえ、子供や若い世代の人達にとっては近くに水田があっても米作り体験をしたことのない人がほとんどであり、少しは米作りの苦労をわかってもらえたのではないかと思います。また米作りは田植、稻刈以外の多くの作業があります。これらの作業の体験も必要かと考えております。

この活動が農業の理解の一助となればありがたいと感じております。

■外来魚の駆除 南加賀支部【小松市長谷町資源保全会】

平成20年10月12日に、小松市長谷町のため池（亀ヶ谷堤）の水を抜き生物の生息調査及び外来種駆除を行いました。子供を含め約30名の参加があり、大量のブラックバスのほかグズやヤゴ、蛙、おたまじやくし、亀などを確認しました。私達の知らない間に外来魚が繁殖し、従来のフナ等の魚はほとんど見られなくなりました。本対策を契機に、地域の農村環境を再確認し、外来魚の駆除等により生態系の保全を図ることはとても大切な活動です。今後は、地域の後継者である子供達に自然や農村の良さを理解してもらい郷土を愛する心が育めるよう、地域ぐるみの活動を盛り上げていきたいと思います。



亀ヶ谷堤にいた主な生物	
オオクチバス大	34匹
オオクチバス小	125匹
グズ（どんこ）	2匹
亀	2匹
ウシガエル	1匹
サワガニ	2匹
かえる	1匹
ヤゴ	10匹
おたまじやくし	20匹

■宮犬地区の生物調査について 奥能登支部【宮犬環境保全会】

能登町宮犬では、活動組織と地元の子供たちと水路等に生息している生物調査を行いました。

水路には、ドジョウやシジミ、カワニナなど数種類の生物を確認することができました。（写真）

今回、調査して思ったことですが、ひと昔前にはメダカやザリガニ等もたくさん生息していたと思います。しかし、調査の時期も影響してか確認することができませんでした。

メダカなどは、本当に少なくなってきたていると思います。生物の種類が減少してきていると実感しました。

この調査を機会に生息している生物の保全を考えていこうと思っています。



【編集後記】

爽やかな日が続く季節になりました。地域のみなさまでの屋外活動も、行いやすい日が続いていると思います。活動自体も地域に浸透してきている中で、工夫されている活動や珍しい活動があれば、こちらまで投稿をお待ちしております。

〒920-0362 石川県金沢市古府1丁目197番地 石川県土地改良事業団体連合会内

いしかわ農地・水・環境協議会 事務局：中 正樹

TEL : FAX 076-249-8191

E-mail : ishikawa@shigenhozen.jp